

## ☆親子天文教室☆

## MY天体望遠鏡を使ってみよう！！

2月11日(土)親子天文教室「MY天体望遠鏡を使ってみよう！」が行われました。望遠鏡を持っているけど…買ってみたものの…使ってみたいけれど…、使い方がわからず始められない方のためのワークショップとして開催しました。

講師は、天文アドバイザー浅田英夫先生です。望遠鏡を持っていない方は、コルキットスピカという望遠鏡の工作キットを作ることから始めていただき、その後、望遠鏡を持っている方と合流して基本的な使い方を一緒

に学びました。先生の面白いお話と、わかりやすい説明に参加された方はみんな興味津々でした。

この日はあいにくのお天気で、屋外での観望が難しそうでしたが、雲間に金星が見えたので、外に出て実際に望遠鏡で見ることができました。参加者からは、「自分で望遠鏡が作れ、使うこともできとても楽しかった。」



「ハードルが高かった望遠鏡が身近になったので、今後積極的に使いたいです。」などの感想をいただきました。

このワークショップを通して多くの方が星空を見ていただき、望遠鏡をのぞく機会が増えるとうれしいです。

## めざせ！自分の記録超え ロボットプログラミングに挑戦！

1月7日、8日の二日間にわたり、ワークショップ『ロボットプログラミングに挑戦！』が行われ、12人の小中学生が参加しました。ロボットプログラミングの初歩から応用までを学び、最終的にコースを走らせタイムを競うというものです。

講師の豊田工業高等専門学校の木村先生から、「他の人との競争ではなく、今までの自分の記録を超えるプログラミングを目指すことが大切」とのアドバイスをいただき、参加者はそれぞれに試行錯誤しながら取り組んでいました。参加後には「難しかったけれど楽しかった」「またやりたい」などの声が上がりました。今後もプログラミングのような専門性の高いワークショップを開催していきたいと思っています。



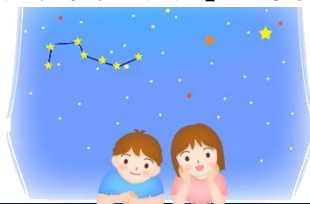
## ☆天文ピックス☆ 星空の星座も冬から春へ

冬の華やかな星座たちが西へ傾き、東には春の星座たちが見えはじめました。今年の春も太陽系最大の惑星「木星」が「おとめ座」の中にあり、春の星座の中で一番明るい恒星「アルクトゥールス」(うしかい座)のオレンジ色に対抗して白く輝いています。

木星は冬の星座の中で一番明るい恒星「シリウス」(おおいぬ座)と同じくらいの明るさなので、南西に「シリウス」東に「木星」と、白くて明るい星が空の両側で輝いています。

北東の空には、七つの星がひしゃくの形を作る「北斗七星」も見えてきます。2等星と3等星でできているので、少しでも空の暗いところで探してみてください。北斗七星が見つければ、ひしゃくの柄を伸ばした曲線の先に、「うしかい座」の「アルクトゥールス」があり、その先に今年には明るい「木星」が位置しています。

夜はまだまだ寒いので、暖かくして星空を楽しんでください。



## 浮く？沈む？重力？浮力？ ～マジックボトルを作ろう！～

1月22日にサイエンス★ランド「マジックボトルを作ろう！」を開催しました。講師は、自主研グループ(理科)の小・中学校の先生方です。

「マジックボトル」とは浮力と重力のバランスによって浮き沈みをする「浮沈子」のことで、サイエンスホールにも「うきうき水族館」として展示してあります。

ボトルの中のたれピンで作った魚はボトルを手で押さえると沈み、手を放すと浮きます。浮いたり、沈んだりするとき、その魚の中の水の量はどのように変わっているのでしょうか？沈む時にはほんの少しだけですが、水が多くなっています。重力>浮力の状態です。反対に浮いている時には、重力<浮力になります。水を調節してこの微妙なバランスを見つけていきます。

参加者の皆さんは、ぬるま湯をはった水槽に集まると、冬を忘れて水の中に手を入れ、魚の中の水を調整していました。また、ホットポンドでねこやかエルなどをたれピンのふたにくっつけて、オリジナルの自分だけの浮沈子にも挑戦しました。

浮力と重力の関係について確かめたい人は、サイエンスホールの「うきうき水族館」をぜひ体験してみてください。

